

NO.

平成 25 年 9 月 28 日 (土)

上越市 かいどう 海道遺跡 現地説明会資料

東日本高速道路株式会社 新潟支社

新潟県教育庁 文化行政課

財団法人 新潟県埋蔵文化財調査事業団

海道遺跡は上信越自動車道 4 車線化事業に伴い 8 月から 10 月にかけて発掘調査を行っています。遺跡は平成 7・8 年度に 4,800 m²の調査を行い、平安時代から中世、さらに近世までの集落であることがわかりました。その際検出した遺構は、掘立柱建物跡 11 棟・井戸 62 基・土坑 63 基・溝 53 条です。遺物は平安時代から中・近世までの土器・鉄器・石製品・木製品がコンテナで 62 箱出土しています。

今回は前回調査できなかつた集落内の 175 m²について発掘調査を行っています。小規模な調査ですが今回の調査でも掘立柱建物 (SB5)・井戸 (SE9)・溝 (SD370) と複数の小穴を検出しました。掘立柱建物は前回調査した柱穴と合わせて 1 棟になるようです。井戸からは曲物・平鍬?などの木製品が底部から出土しました。遺物は前回と同様に平安時代の須恵器・土師器、中世の珠洲焼・中国産の青磁、近世の肥前系陶磁器が出土しています。



平成 7 年度の航空写真(上が西)です。今回の発掘地点は右上の杉林です。